



テンプレート

- [テンプレートについて \(1 ページ\)](#)
- [テンプレートの設定 \(2 ページ\)](#)
- [テンプレートを作成するための設定例 \(9 ページ\)](#)
- [次の作業 \(9 ページ\)](#)
- [テンプレート作成の機能情報 \(10 ページ\)](#)

テンプレートについて

電話機テンプレート

ephone テンプレートまたは音声レジスタ テンプレートは、単一のコマンドを使用して 1 台以上の個々の電話機に適用できる機能のセットです。

ephone テンプレートは、IP Phone でソフトキーの表示と順序を操作するために、Cisco Cisco Mobility Express 3.2 で導入されました。

Cisco Unified CME 4.0 では、多数の追加の電話機能を含めるため ephone テンプレートが大幅に拡張されました。テンプレートを使用すると、電話機のセットに対して、選択した機能を統一かつ簡単に実装できます。Cisco Unified CME システムでは、最大 20 の ephone テンプレートを作成できます。ただし、ephone に適用できるテンプレートは、一度に 1 つだけです。

Cisco Unified CME 4.3 以降のバージョンでは、構成ファイルに MAC アドレスが含まれている場合を除いて、ephone テンプレートを特定の電話機に適用することはできません。MAC アドレスが設定されていない電話機にテンプレートを適用しようとすると、メッセージが表示されます。

ephone テンプレートを使用して電話機にコマンドを適用し、同じ電話機に対して ephone コンフィギュレーションモードで同じコマンドを使用した場合は、ephone コンフィギュレーションモードの値セットが優先されます。

音声登録テンプレートは、Cisco Unified Cisco Mobility Express に直接接続される個々の SIP IP Phone 用の機能セットを適用できるようにするため、Cisco Cisco Mobility Express 3.4 で導入されました。一般的に、音声レジスタ テンプレートを使用して有効にされる機能は、他のコン

フィギュレーションモードで設定できません。Cisco Unified CME では、最大 10 の音声レジスタテンプレートを定義できます。ただし、電話機に適用できるテンプレートは、一度に1つだけです。

ephone-template または voice-register-template 構成モードで、? と入力すると、テンプレートを使用して実装できる機能のリストが表示されます。

構成情報については、[Ephone テンプレートの作成 \(2 ページ\)](#) を参照してください。

ephone-dn テンプレート

ephone-dn テンプレートによって、ephone-dn に標準機能セットを適用できます。Cisco Unified CME システムでは、最大 15 の ephone-dn テンプレートを作成できます。ただし、ephone-dn に適用できるテンプレートは、一度に1つだけです。

ephone-dn テンプレートを使用して ephone-dn にコマンドを適用し、同じ ephone-dn に対して ephone-dn コンフィギュレーションモードで同じコマンドを使用した場合は、ephone-dn コンフィギュレーションモードで設定した値が優先されます。

ephone-dn テンプレート構成モードで? を入力すると、テンプレートを使用して実装できる機能のリストが表示されます。

構成情報については、[Ephone-dn テンプレートの作成 \(4 ページ\)](#) を参照してください。

テンプレートの設定

Ephone テンプレートの作成

ephone テンプレートを作成し、電話機に適用するには、次の手順を実行します。

始める前に

- Cisco Unified CME 4.3 以降のバージョンでは、ephone テンプレートを電話機に適用するには、あらかじめ特定の電話機の構成ファイルにその MAC アドレスが含まれていること。MAC アドレスを明示的に構成するには、Ephone 構成モードで、**mac-address** を使用します。構成情報については、[基本通話を発信するための電話機構成](#)を参照してください。
- ephone に基づいて ephone テンプレートを追加する前に、電話機ごとに cnf-file を設定しておくことを推奨します。

手順の概要

1. **enable**
2. **configure terminal**
3. **ephone-template** *template-tag*
4. *command*

5. **exit**
6. **ephone phone-tag**
7. **ephone-template template-tag**
8. **restart**
9. **end**

手順の詳細

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	enable 例： Router# enable	特権 EXEC モードを有効にします。 • プロンプトが表示されたら、パスワードを入力します。
ステップ 2	configure terminal 例： Router# configure terminal	グローバル構成モードを開始します。
ステップ 3	ephone-template template-tag 例： Router(config)# ephone-template 15	ephone テンプレート コンフィギュレーション モードを開始して、ephone テンプレートを作成します。 • <i>template-tag</i> — 作成される ephone テンプレートの固有識別子。範囲は 1 ~ 20 です。
ステップ 4	command 例： Router(config-ephone-template)# features blocked Park Transfer	作成している ephone テンプレートに対して、指定したコマンドを適用します。 • ? を入力すると、この手順で使用できるコマンドのリストが表示されます。 ephone テンプレートに追加するコマンドごとに、この手順を繰り返します。
ステップ 5	exit 例： Router(config-ephone-template)# exit	ephone テンプレート コンフィギュレーション モードを終了します。
ステップ 6	ephone phone-tag 例： Router(config)# ephone 36	ephone コンフィギュレーション モードを開始します。 • <i>phone-tag</i> — 構成タスク中にこの ephone を識別する一意のシーケンス番号です。
ステップ 7	ephone-template template-tag 例： Router(config-ephone)# ephone-template 15	ephone テンプレートを、設定する ephone に適用します。

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 8	restart 例： Router(config-ephone)# restart	この ephone の高速リブートを実行します。DHCP または TFTP サーバに接続して、最新情報を取得することは行われません。 (注) telephony-service 構成モードで restart all コマンドを使用してすべての ephone を再起動します。
ステップ 9	end 例： Router(config-ephone)# end	特権 EXEC モードに戻ります。

Ephone-dn テンプレートの作成

ephone-dn テンプレートを作成し、ephone-dn に適用するには、次の手順を実行します。

手順の概要

1. **enable**
2. **configure terminal**
3. **ephone-dn-template** *template-tag*
4. *command*
5. **exit**
6. **ephone-dn** *dn-tag*
7. **ephone-dn-template** *template-tag*
8. **end**

手順の詳細

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	enable 例： Router# enable	特権 EXEC モードを有効にします。 • プロンプトが表示されたら、パスワードを入力します。
ステップ 2	configure terminal 例： Router# configure terminal	グローバル構成モードを開始します。
ステップ 3	ephone-dn-template <i>template-tag</i> 例： Router(config)# ephone-dn-template 3	ephone-dn テンプレート コンフィギュレーションモードを開始して、ephone-dn テンプレートを作成します。

	コマンドまたはアクション	目的
		<ul style="list-style-type: none"> • <i>template-tag</i>— 作成される ephone-dn テンプレートの固有識別子。範囲は 1 ~ 20 です。
ステップ 4	<p><i>command</i></p> <p>例 :</p> <pre>Router(config-ephone-dn-template)# call-forwarding busy 4000</pre>	<p>作成している ephone-dn テンプレートに対して、指定したコマンドを適用します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • ? を入力すると、この手順で使用できるコマンドのリストが表示されます。 <p>テンプレートにさらにコマンドを追加するには、この手順を繰り返します。</p>
ステップ 5	<p>exit</p> <p>例 :</p> <pre>Router(config-ephone-dn-template)# exit</pre>	<p>ephone-dn テンプレート コンフィギュレーション モードを終了します。</p>
ステップ 6	<p>ephone-dn dn-tag</p> <p>例 :</p> <pre>Router(config)# ephone-dn 23</pre>	<p>ephone-dn コンフィギュレーション モードを開始します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • <i>dn-tag</i>— 構成タスク中にこの ephone-dn を識別する一意のシーケンス番号。
ステップ 7	<p>ephone-dn-template template-tag</p> <p>例 :</p> <pre>Router(config-ephone-dn)# ephone-dn-template 3</pre>	<p>ephone-dn テンプレートを、設定する ephone-dn に適用します。</p>
ステップ 8	<p>end</p> <p>例 :</p> <pre>Router(config-ephone-dn)# end</pre>	<p>特権 EXEC モードに戻ります。</p>

SCCP 電話機でのテンプレートの確認

テンプレートの設定を表示し、テンプレートが適用されている電話機またはディレクトリ番号を確認するには、次の手順を実行します。

ステップ 1 show telephony-service ephone

このコマンドを使用すると、電話機のコンフィギュレーションで有効になっている *template-tag* など、Cisco Unified CME の SCCP 電話機に関する情報が表示されます。

```
Router# show telephony-service ephone 1
ephone-dn-template 1
description Call Center Line 1
call-forward busy 500
call-forward noan 500 timeout 10
```

```
pickup-group 33!
!
```

ステップ2 show telephony-service ephone-template

このコマンドを使用すると、コンフィギュレーションで有効になっている機能のリストなど、Cisco Unified CME の ephone テンプレートに関する情報が表示されます。

ステップ3 show telephony-service ephone-dn

このコマンドを使用すると、ディレクトリ番号用にコンフィギュレーションで有効になっている template-tag など、ディレクトリ番号に関する情報が表示されます。

```
Router# show telephony-service ephone-dn 4
!
ephone-dn 4 dual-line
number 136
description Desk4
ephone-dn template 1
ephone-hunt login
```

ステップ4 show telephony-service ephone-dn-template

このコマンドを使用すると、コンフィギュレーションで有効になっている機能のリストなど、Cisco Unified CME の ephone-dn テンプレートに関する情報が表示されます。

SIP 電話機のテンプレートの作成と適用

個々の Cisco SIP IP Phone に適用できる共通の機能とソフトキーのテンプレートを作成するには、この項の手順を実行します。

始める前に

- Cisco CME 3.4 以降のバージョン。
- **mode** Cisco Mobility Express コマンドが、Cisco Unified Cisco Mobility Express で有効化されている必要があります。

手順の概要

1. **enable**
2. **configure terminal**
3. **voice register template** *template-tag*
4. *command*
5. **exit**
6. **voice register pool** *pool-tag*
7. **template** *template-tag*
8. **end**

手順の詳細

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	enable 例： Router# enable	特権 EXEC モードを有効にします。 • プロンプトが表示されたら、パスワードを入力します。
ステップ 2	configure terminal 例： Router# configure terminal	グローバル構成モードを開始します。
ステップ 3	voice register template <i>template-tag</i> 例： Router(config)# voice register template 1	音声登録テンプレート構成モードを開始して、Cisco Unified Cisco Mobility Express の SIP 電話機の共通パラメータのテンプレートを定義します。 • 範囲は 1 ～ 5 です。
ステップ 4	<i>command</i> 例： Router(config-register-template)# anonymous block	指定したコマンドをこのテンプレートに適用し、このコマンドを設定するテンプレートが使用されるサポート対象 SIP 電話機で、対応する機能を有効にします。 • ? と入力すると、音声登録テンプレートで使用できるコマンドのリストを表示できます。 この音声レジスタテンプレートに追加する機能ごとに、この手順を繰り返します。
ステップ 5	exit 例： Router(config-register-template)# exit	コンフィギュレーションモードを終了して、コンフィギュレーションモード階層で次に高いレベルのモードを開始します。
ステップ 6	voice register pool <i>pool-tag</i> 例： Router(config)# voice register pool 3	音声レジスタ プール コンフィギュレーションモードを開始して、SIP 電話機の電話機固有パラメータを設定します。 • <i>pool-tag</i> — 構成する Cisco SIP phone の一意のシーケンス番号。範囲は、1 ～ 100 または、 max-pool コマンドが定義した上限です。
ステップ 7	template <i>template-tag</i> 例： Router(config-register-pool)# voice register pool 1	voice register template コマンドを使用して作成したテンプレートを適用します。 • <i>template-tag</i> — voice register pool コマンドが指定した SIP 電話機に適用されるテンプレートの一意のシーケンス番号。範囲は 1 ～ 5 です。

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 8	end 例： Router(config-register-pool)# end	特権 EXEC モードに戻ります。

例

次の例は、テンプレート 1 および 2 と、次の操作を実行する方法を示しています。

- テンプレート 1 を SIP 電話機 1 ～ 3 に適用します。
- テンプレート 2 を SIP 電話機 4 に適用します。
- SIP 電話機 5 から、以前作成したテンプレート 5 を削除する

```

Router(config)# voice register template 1
Router(config-register-temp)# anonymous block
Router(config-register-temp)# caller-id block
Router(config-register-temp)# voicemail 5001 timeout 15

Router(config)# voice register template 2
Router(config-register-temp)# anonymous block
Router(config-register-temp)# caller-id block
Router(config-register-temp)# no conference
Router(config-register-temp)# no transfer-attended
Router(config-register-temp)# voicemail 5005 timeout 15

Router(config)# voice register pool 1
Router(config-register-pool)# template 1

Router(config)# voice register pool 2
Router(config-register-pool)# template 1

Router(config)# voice register pool 3
Router(config-register-pool)# template 1

Router(config)# voice register pool 4
Router(config-register-pool)# template 2

Router(config)# voice register pool 5
Router(config-register-pool)# no template 5
    
```

テンプレートを作成するための設定例

Ephone テンプレートを使用した Park および Transfer ソフトキーの使用のブロック例

次の例では、**ephone** テンプレートを作成して、[パーク (Park)] ソフトキーと [転送 (Transfer)] ソフトキーの使用をブロックします。これは、**ephone 36** と内線番号 2333 に適用されます。

```
ephone-template 15
  features blocked Park Trnsfer

ephone-dn 2
  number 2333

ephone 36
  button 1:2
  ephone-template 15
```

Ephone-dn テンプレートを使用した通話転送設定の例

次の例では、**ephone-dn** テンプレート 3 を作成します。このテンプレートは、内線番号 4000 にコールを転送するように、話中および無応答時のコール自動転送を設定し、ピックアップグループを 4 に設定します。次に、**ephone-dn** テンプレート 3 は、それぞれ **ephone 13** および 14 に表示される **ephone-dn 23** と **ephone-dn 33** に適用されます。

```
ephone-dn-template 3
  call-forwarding busy 4000
  call-forwarding noan 4000 timeout 30
  pickup group 4

ephone-dn 23
  number 2323
  ephone-dn-template 3

ephone-dn 33
  number 3333
  ephone-dn-template 3

ephone 13
  button 1:23

ephone 14
  button 1:33
```

次の作業

ソフトキーディスプレイ

さまざまなコール状態中のソフトキーの表示は、**ephone** テンプレートを使用して管理されません。詳細については、[ソフトキーのカスタマイズ](#)を参照してください。

テンプレート作成の機能情報

次の表に、このモジュールで説明した機能に関するリリース情報を示します。この表は、ソフトウェア リリース トレインで各機能のサポートが導入されたときのソフトウェア リリースだけを示しています。その機能は、特に断りがない限り、それ以降の一連のソフトウェア リリースでもサポートされます。

プラットフォームのサポートおよびシスコソフトウェアイメージのサポートに関する情報を検索するには、Cisco Feature Navigator を使用します。Cisco Feature Navigator にアクセスするには、www.cisco.com/go/cfn に移動します。Cisco.com のアカウントは必要ありません。

表 1: テンプレートの機能情報

機能名	Cisco Unified Cisco Mobility Express のバージョン	機能情報
ephone テンプレート	4.0	<ul style="list-style-type: none"> 作成できる ephone テンプレートの数が、5 から 20 に増加しました。 ephone テンプレートに、より多くのコマンドを追加できるようになりました。
	3.2	ソフトキーを管理するための ephone テンプレートが導入されました。ephone テンプレートで使用できるコマンドは、 softkeys コマンドだけです。
ephone-dn テンプレート	4.0	ephone-dn テンプレートが導入されました。
SIP 電話機用の電話テンプレート	4.1	設定できるテンプレートの最大数が、5 から 10 に増加しました。
	3.4	Voice-register テンプレートを、Cisco Unified Cisco Mobility Express ルータに直接接続する SIP 電話機に導入しました。

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。